

## しあわせの村体験宿泊に参加して

大阪頸髄損傷者連絡会 U・S

今回初めてしあわせの村体験宿泊に参加させて頂いた和歌山のU・Sと申します。

大阪頸損連絡会の島本事務局長から「兵庫で体験宿泊があるので行ってみたいかどうか」というお話があり、そこから兵庫頸損連絡会の島本さんと連絡を取り合い参加という流れになりました。受傷して約16年、家族旅行は経験ありますが、家族以外の人と宿泊するのは初めてで「ちゃんとして欲しい事を伝えられるだろうか」という不安が少しばかりありました。行きは和歌山まで島本さんと学生さんに迎えに来てもらい、電車とバスを乗り継ぎ目的地まで行くのですが、私は電動車いすでバスに乗るのが初体験で、ノンステップバスの車いすスペースは意外と広いんだとか新しい発見もあり良い経験になりました。しあわせの村到着後のバーベキューでは初めましての方が多く、人見知りの私は皆さんとお話するのは緊張しましたが、時間と共に緊張も解れ大自然の中、大勢でわいわいしながら楽しく食べるバーベキューは格別でした。

不安に感じていた部屋での着脱衣などは学生さんに協力してもらいスムーズにできました。

以前は、知らない場所に行くなんてエネルギーも使うし準備も大変という事で敬遠しがちでしたが、今後は「行ってみよう」や「やってみよう」というチャレンジ精神を持つ事が大切という考えに変わりました。また介助を受ける場合、自分が「どうしたいか」や「どうしてほしいか」を明確に相手に伝える事ができれば、家族やヘルパーさんでなくても上手くいくのではと感じています。初めてづくしの今回の宿泊を通じて、これからの外出に対する自信にもつながりました。参加者の皆さん、学生の皆さんありがとうございました。



Iさんと2ショット



バーベキュー楽しい



参加者みんなで